



川西町フレンドリープラザ

劇場・川西町立図書館・遅筆堂文庫

2023年
陽春

No.76

PLA's



<https://www.kawanishi-fplaza.com>



特集

初めはみんな《ズブシロ》だ！
ウクレレ事始



町立図書館 & 遅筆堂文庫

蔵書点検の裏側／井上ひさし見つけ！

Waku Waku エッセイ 映画監督 和島香太郎

「撮れない世界をみつめながら」

《コラム》

私のお気に入り～My favorite things～



初めはみんな『ズブシロ』だ！

ウクレレ事始

1 ズブシロってなに？

ズブの素人、略して「ズブシロ」。楽器を手にしたことがない「ズブシロ」でも、すぐに演奏できます。と始まったズブシロ・チャレンジ・プロジェクト。楽器はウクレレです。

「初めてウクレレを手にするズブシロのみなさんへ、優しく弾き方を手ほどきします。ワークショップの後はステージに立っていっしょにライブに挑戦します！」
こんなチラシで参加者を募集しワークショップを開催したのは2021年8月。

指導者はズブシロの提唱者、片倉尚さんです。以来4回のウクレレ講座と参加者の演奏会などを開いてきました。

▲2021年3月「白崎映美コンサート」にて



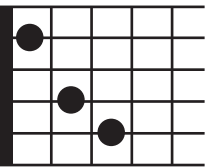
楽器の上達には、へたでも人前で演奏することがいちばん。2022年3月の白崎映美コンサートでは、ウクレレを始めてもない人たち20人が、無謀にも片倉さんのステージに立ち『なんとなく』となく『上を向いて歩こう』の2曲を演奏しました。なんとというコワイもの知らず！

9月の一箱古本市では、野外劇場で「ウクレレ大集合」と題し、1時間のコンサートに出演しました。

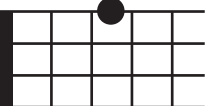
める人が多いようです。

ギターでCのコード(和音：ド・ミ・ソ)を押さえる場合、左指は3カ所押さえますが(図1)、ウクレレでCはたった1カ所だけ(図2)。なんてカンタン、と思いますよね。でもなかなか奥が深い楽器であることもまちがいないし。コード(和音)は、基本のC、F、G7の3つを覚えれば20分後には、弾き語りもできます。一人でも、またグループでも、気軽に演奏が楽しめます。

(図1)ギター



(図2)ウクレレ



3 気軽に楽しめる楽器

ズブシロでウクレレを手にして1年未満から2年になる人は、ようやく「ズブ」が取れて普通の「シロウト」の段階に入ります。そこから次のステップに進めるかどうかは本人次第。

楽器が上達するコツは、毎日5分から10分でも楽器に触れることだとよく聞きます。毎日、コツ

沐浴センターまどかでは、毎月2回、ウクレレ講座が開催されており、町外からも川西町に集まるウクレレ衆は、いまま増殖中です。

2 Cのコードは1か所押さえるだけ

ウクレレの魅力とはなんでしょうか。

「楽器がかわいい。音色もやさしい」

「かんたんに音が出せそう」

「なにか楽器をやりたいかった」

「楽譜、音符がわからないけど大丈夫」

「昔、ギターをやってみたが、Fのコードで挫折。ウクレレで再挑戦したい」

参加者にうかがってみると、きっかけはさまざまです。動機はなんであれ、チャレンジする気持ちが大事ですね。

ウクレレは単純に小さいギターと思われがちですが、次のような特徴があります。

◎弦は4本(ギターは6本)

◎大きさは、ボディの小さい順に並べると主に3つのタイプがあります。

・ソプラノ ・コンサート ・テナー

◎右手の弾く指は親指だけでもOK。

◎気になる値段は数千円から数十万円(ー)まであります。ご予算に応じて選ぶことができますが、ズブシロは、1万円から2万円のを求

ツならぬポロポロンと練習するしか上達の道はないようです。

音量もそれほど大きくなく、部屋で一人ポロロンと弾いても、「うるさい」という人は、まあいないでしょう。コロナ禍で「おうち時間」が増えてしまったことも、ウクレレファンが増えている要因の一つかもしれません。

ウクレレは、部屋の隅に置いておき、いつでもかんに手にできるかわいい友だちになってくれます。

You Tubeには、ウクレレのプロからアマチュアまでたくさん演奏動画があり、好みの演奏をお手本にして練習することもできます。

一本の楽器を手にして世界が広がる。その喜びをぜひいっしょに体験しましょう。ウクレレの定期的な講座と練習が体験できる場所は、次の2か所です。興味のある方は、ぜひおたずねください。



プラザとまどかの

音楽イベント イロイロ

ウクレレワークショップ

沐浴センターまどかでは、月に2回、ウクレレワークショップを開催しています。前半が「ズブシロ」、後半が「ズブシロ卒業組」。参加費は1000円(飲み物とスイーツ付き)、ウクレレを弾いてからまどかのおいしいケーキが食べられるとあって大好評です。ウクレレをまだ持っていない方にはレンタルもあります。講師はまどか社長の片倉尚さん。定員があり事前予約が必要です。問合せは「まどか」まで。

※電話 0238-4214126



昼下りのステージ

歌や楽器演奏をして音楽を楽しんでいる人たちが出演する、フレンドリープラザのミニコンサート。不定期ですが、土曜日の午後に、約1時間のロビーコンサートを開催しています。

開催しています。

2021年3月からスタートして以来、昨年末で20回を数えます。フルート、ピアノ、ゴスペル、ハンドパン、リコーダー、オカリナから民族楽器、ジャズまで、置賜地域で音楽活動している人たちに演奏の場をつくるステージ。演奏の申し込み・問合せはプラザ事務室まで。



打楽器ワークショップ

ズブシロ・チャレンジ・プロジェクトは打楽器コースも開催しています。たたけばすぐに音が出るパーカッション、すぐにセッションが楽しめます。

スティールパン、ドラム、ジャンベのワークショップを行ってきました。これからも随時開催する予定です。



アフリカ太鼓
ジャンベ

ウクレレ講座のお問合せ先

【お問合せ】
ライブスペースJam
電話0238-42-4533
沐浴センターまどか
電話0238-42-4126

▲2022年9月「一箱古本市in川西」にて(野外劇場)



ウクレレの魅力伝える 片倉尚さん(たかし)に聞く

—これまでたくさんの方にウクレレをお世話してきましたとお聞きしました。何人くらいの人に?

A 100人くらいになるかな。つまり100本のウクレレを購入し、調整してから渡してきました。予算額を聞いて楽器を取り寄せ、弦の高さを調節するなど弾きやすくイジってからお渡ししています。

—なるほど。イジるのは人だけじゃなくて楽器もですね(笑)

A ブリッジを削ったりして弾きやすしたりする。それがとても楽しい。私にとっては楽器をよくするために「イジる」のが訓練になっている。

—ズブシロに参加した人はまったくのシロウトですか?

A 自分もできるんじゃないかと思って、はじめて手にする人がほとんど。自分には縁遠いものと思っていたのかもしれない。ウクレレはとつきやすいと思われませんが、奥の深い楽器。シンプルなもののほうが実は奥が深いかもしれない。ズブシロ講座

【プロフィール】ライブスペースJamオーナー。浴浴センターまで取締役社長。ウクレレのほか、サキソフォン、ギター、ベース、ドラムまで演奏する。ジャズライブや警女唄を聴く会を企画。水道管を自ら設計加工した水道管ケーナ「水道(みずみち)の笛」はプロの演奏家にも大好評。音楽の幅を拡げる役に立つというスキルは1級の腕前、毎シーズン20回以上はゲレンデに立つ。元巨で満70歳となり、やりたい放題や言いたい放題にさらに磨きかける。



ただいま蔵書点検中!

蔵書点検は図書館で行う棚卸のようなもの?

- 毎年2月に1週間ほど休館にして作業を行います。
- 点検する書架のすべての本のバーコードを読み込みます。
- 読み込みやすくするため、最初に本を横に倒す作業を行います。何万冊もある本を倒すのですから職員総出の作業です。(写真①)
- 次にハンディのバーコードリーダーを使って読み込んでいきます。書架の上の本は背伸びをして、床に近い1段目の棚は体を縮こませ首を曲げて、と意外とキツイ作業です。(写真②)
- 読み込んだデータは、大本の書誌データが入力されているパソコンに落とし込み、突き合わせます。すると、データがあるのにバーコードリーダーに読み込まれていない本が不明として上がってきます。実際に失くなってしまったのか、それともバーコードの読み落としなのか…?(写真③)棚を一つひとつめぐるって確認します。この目視作業も一苦労です。

蔵書の有無を明確にし、利用者のみなさんによりよいサービスを提供できるよう年に一度の貴重な作業です。(遠藤)



写真①



写真②



写真③

をやっているのは、演ってみたい人にちょっと手ほどきをしているだけ。教えるなんておこがましい。音楽という自分を解放する扉を開けるきっかけをつくっているにすぎません。

—身近なところに、基本のキを教えてくれる人がいて場所があると初心者にはうれしいですね。

A うまくいかなかったがいつのまにかできるようになってくる瞬間がある。そうすると欲が出てきて知識も増える。理論などわからなくても、まずはやってみることが大事。楽しんだ者が勝ちだな。

—楽器を手にし、音楽に親しむ人が増えるといい、というお考えですか?

A そう、音楽への扉を開けるきっかけをつくっているだけ。ウクレレを通して人類のみ与えられた才能である音楽の扉を開け、各自がそのすばらしさを他者と分かち合うという習慣を身に付けることができれば、世界平和にもつながる可能性が高いと考えています。

—たしかに、ウクレレのやさしく穏やかな音色は平和にふさわしいのかも。

A 競うということや優劣をつける世界ではない。決して大きなことではなく、リズムとハーモニーが心地良いグルーヴ感に抱かれる瞬間を感じたら、別世界へ誘われるのです。ジョン・レノンの「イマジン」に通じるものがあります。

—なるほど。ウクレレを弾くのに大事なことはなんでしょう。

A チューニング。弦の音程をしっかりと合わせることで、チューニングという絶対的な約束を守り、音量バランスを考え、シンクロナイズするリズムを感じれば、幸福感がふれる世界へ誰でもが入れられます。先ずは気楽にトライ…です。

遅筆堂文庫で見つけ!!

井上ひさしの野球ネタの出所を調べている。そんなもの調べてどうすんだ? はい、くだらないけれどおもしろい。『下駄の上の卵』新潮文庫2022年新版49頁に、明治44年東京朝日新聞の野球毒毒論キャンペーンが紹介されている。どれもこれもこじつけぶりが笑いをさそう。そのひとつに新渡戸稲造旧制一高校長の談話がある。「野球は拘摸巾着切の遊戯。常に対手をペテンに掛けよう、計略に陥れよう、ベースを盗もうなどと眼を四方八面に配り、神経を鋭くして遊ぶ遊戯である。故に米人や独乙人には出来ない」。なんのこっちゃ? これを含めた3頁ぶんの新聞記事はほとんどそのまま、池井優著『白球太平洋を渡る』中公新書1976年刊の引き写しであった。無論遅筆堂文庫蔵、当該の頁に付箋がある。そして解明。井上ひさしの写し間違い、そして歴代の編集者も気づかず雑誌掲載以来45年間そのままだった。最後の一文、正しくは「ゆえに米人には適するが、英人やドイツ人には決してできない」。(井上恒)



『下駄の上の卵』新潮文庫2022年新版

果たして真実はいかに!? 遅筆堂文庫にて絶賛議論中~!!



ロビーピアノ

フレンドリープラザのロビーにあるピアノを弾くことができます。(ただし、ホールでの催しがない日で、午前9時から午後6時まで。日曜は5時まで) 予約なしで当日の申し込みも可能です。問合せはプラザ事務室まで。



【お問合せ】
川西町フレンドリープラザ
電話0238-46-3311



プラザのピアノ時間
フレンドリープラザのステージ上で、コンサートピアノ(ヤマハCF)が弾けます。一人でも、また仲間と連弾することもできます。演奏時間は1組1時間です。開催は不定期ですが、年に2~4回の予定で開催します。電話予約が必要です。

撮れない世界を見つめながら

映画監督 和島 香太郎

私は映画を作るかたわら、ネットラジオを作っています。このラジオでは、てんかん患者をゲストにお招きして、それぞれの症状や悩みを聞いています。てんかんとは、脳の神経細胞の過剰な興奮によって生じる発作を繰り返す病気です。私の場合は若年性ミオクロニーてんかんといって、寝起きに手がびくびくと動く症状があります。現在は抗てんかん薬で発作が抑制されていますが、睡眠不足が続くと発作のリスクが高まります。でも私のような売れない映画監督は昼まで寝ていられるので安心です。

話をラジオに戻します。てんかんによって複雑な悩みを抱えている患者さんたちがいます。発作を奇異な目で見られたり、その病名だけで理不尽な対応を受けることがあるからです。人目につかないところで薬を飲み、病名を伏せて会社の面接を受ける。そういうことと後ろめたさを感じ、愚痴っつてしまいたくなることもあります。私はそんな患者さんたちとマイクを囲むようになりました。最初はドキュメンタリー映画を作りました。最初が、病を伏せている患者さんはカメラの前に

立つことができず。匿名でラジオに出演していただくという形であれば、てんかんを取り巻く問題を患者さんの肉声で炙り出せると思ったのです。

その後、ラジオを聞いた方からドキュメンタリー映画の編集の依頼がありました。自閉症の男性と彼の暮らしを支える親族や福祉関係者らとの交流を軸とした内容です。その一方で、自閉症を原因とする予測のつかない言動に憤りを抱え、苦情を言いにくる近隣住民がいることもわかりました。その方に取材を申し込んだところ、映画には一切関わりたくないという返事が長い手紙とともに届きました。カメラの前に立ち、障害のある方の暮らしに対して否定的な意見を述べることは、差別主義者として糾弾されるリスクを伴います。けれど、虚構の世界であれば双方の事情を描けるのではないかと考え、劇映画を作ることにしました。それが昨年フレンチドリープラザで上映していただいた『梅切らぬバカ』です。

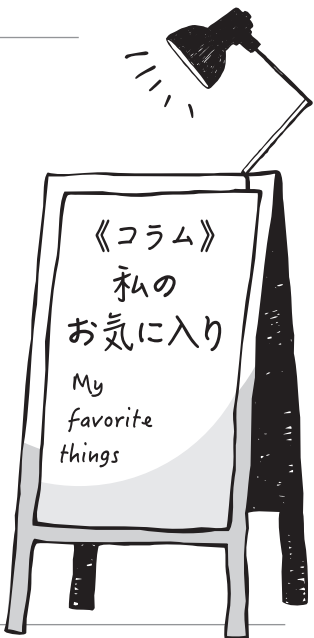
自分の過去を振り返ると、カメラを向けられない現実と直面するたびに創作意欲が掻き立てられていることがわかります。撮れたものよりも、撮れなかったものと撮らなかつたものが、心に残っています。どうしてこんなことを書いているかというと、それが次作のテーマ

だからです。時間はかかるかもしれませんが、病や障害の傍らにある表現を私なりに模索していきます。

和島 香太郎 (わじま・こうたろう)

プロフィール

1983年、山形県酒田市生まれ。2021年、監督作『梅切らぬバカ』がシネスイッチ銀座ほか全国で公開。本作は老いた母と自閉症の息子が地域コミュニティとの交流を通して自立の道を模索する姿を描いた人間ドラマ。また、2017年からネットラジオ「てんかんを聴くぼつラジオ」を配信。てんかん患者やそのご家族をゲストに招き、それぞれの症状と悩みについて語ってもらっている。自身もてんかん患者であり、その経験を綴ったエッセイは『病と障害と、傍らにあった本。』(里山社)に収録されている。



オペラ鑑賞

長澤 聡

私が中学生の時に吹奏楽部に入り、オペラの曲を聴いたり演奏しているうちに好きになりました。最終的には編曲して指揮もするようになった。しかし私は、音楽を作る才能が乏しく絶望して演奏活動を一切やめました。

それから十年くらい経ったころだろうか、何気なくインターネットを見ていたら、東京で生のオーケストラのオペラを上演している事を知った。ずっと知らずにいた自分が「井の中の蛙」だと思った。外国に行かなければ、本格的なオペラを観ることが出来ないと思っていたからだ。

初めて観たのはオペラ「カルメン」。このオペラの前奏曲は非常に有名でみんなが知っているメロディである。その前奏曲が終わる、第一幕の幕が上がった瞬間に私は息を呑んだ。舞台の上は絵画そのものだった。絵画が動き音楽が流れ演技して歌うという、芸術のすべてが

目の前に広がる世界は言葉にならない感動だった。オペラは「総合芸術」といわれている訳が一瞬で理解できた。

それから好きな演目とタイミングが合えば、東京の国立劇場にオペラを観に行くようになった。特にブッチーニのオペラが好きで「ラ・ボエーム」や「蝶々夫人」「トゥーランドット」などが特に好きだ。オペラはほとんどが外国語で上演されるのだが、舞台の両側に電光掲示板が設置されており、日本語訳が出るので安心して鑑賞することが出来るのだ。

去年は観に行くことができなかったのですが、今年こそは観に行きたいと思っているところである。(川西町)



アートを読む

集貝 奈津子

いわゆる「楽天経済圏」に足首くらい浸かりながらいまいち有効活用できていない昨年末、半額キャンペーンにつられて定額雑誌読み放題サービス「楽天マガジン」に登録した。毎月購読しているファッション誌があったので元はとれる算段だ。

その少し前に『目の見えない白鳥さんとアートを観に行く』川内有緒・著(集英社)を読

み大いに影響を受けた私は、展覧会の情報をどう得たものかと、差し当たり「美術手帖」のSNSアカウントをフォローしていた。投稿は社会問題と密接な記事の紹介も多く、リンク先を辿る。が、「この先は有料です」の表示。そらそうか。

何が言いたいかって、楽天マガジンで「美術手帖」が読めるんですよ。美術手帖一冊の金額で千誌以上読み放題(これはPRではありません)。

すぐに一番気になる特集号をダウンロードした。アーティストのインタビューや研究者の評論、展覧会の詳細な解説……。なんだ、こんなにもアートをことばで語ってくれてるじゃないか。何事も文章を通して理解したいからか、アートはわからないことだらけだった。それで展覧会で同行者に助けを求めると、返ってきたのは「Don't think, Feel」。

解釈を狭めぬようにという配慮はありがたいが、その親切な不親切さが美術への関心の低さを招いていないかと憂うのは余計なお世話だろうか。何より、普段読み慣れた小説などの文芸を生業にしている人達とは、言葉の使い方が違う気がする。わからなさが新鮮で面白かった。アートの意図をたっぷり読むことができ(ひと月ではとても読みきれない)かなり満たされてしまった。実際に美術館に足を運ぶ日はもう少し先になるかもしれない。(米沢市)

2023年4月～9月の公演案内

音楽 太田真由美 & フレンズ 春のきらめき 弾む♪リズム♪

時間◆16:00開演(15:30開場)
料金◆一般2,000円、Pla's会員1,800円、高校生以下1,000円
出演◆太田真由美(スティールパン) / 神原瑠子(マリンバ)
中丸達也(パーカッション) / 川島佑介(ドラム) / 加藤皓平(チェロ)

2023年
4月22日 (土)
◆チケット発売中



落語 プラザ寄席 vol.39 柳家喬太郎独演会

古典も新作も喬太郎シェフによる落語のフルコースを召し上がれ!

時間◆15:00開演(14:30開場)
料金◆一般3,000円、Pla's会員2,800円、高校生以下1,500円※当日各500円増

2023年
5月14日 (日)
◆チケット発売中



演劇 こまつ座 第146回公演 きらめく星座

作・井上ひさし 演出・栗山民也

時代が押し付ける重い空気、そんな流れに負けず懸命に生きた庶民たちの物語。
井上ひさし「昭和庶民伝三部作」の第一作。

時間◆13:00開演(12:30開場)
料金◆一般6,600円、Pla's会員5,500円、U-30(30歳以下)3,300円、高校生以下2,200円
出演◆松岡依都美 / 久保耐吉 / 村井良大 / 栗野史浩 / 瀬戸さおり / 後藤浩明 / 高倉直人 / 小比類巻諒介 / 木村靖司 / 大鷹明良

2023年
6月3日 (土)
◆チケット準備中



音楽 The Battle Japan tour 2023

♪4年ぶりにジャズ界のメジャーリーガー2人が日本中をバップバトルの嵐で駆け巡る♪

時間◆19:00開演(18:00開場)
料金◆一般5,500円、Pla's会員5,000円、U-18(18歳以下)2,000円、
ペア券10,000円(ペア券は前売りのみ)※当日各500円プラス
出演◆エリック・アレクサンダー(Ts) / ビンセント・ハーリング(As) / 小林陽一(Ds) /
リン・ヘイテツ(Pf) / 安田幸司(B) / 《ゲスト出演》横澤徹(As)

2023年
7月15日 (土)



祭り 朗読まつり

2日間にわたる朗読の祭典。
プロからアマチュアまで朗読を通して様々な世界観を味わえます。 ※募集期開始時期など、詳細は決まり次第お知らせいたします。

2023年
8月5日 (土) **6日** (日)

祭り 一箱古本市 in 川西

時間◆10:00～15:00(一箱古本市を中心に1daycafeや紙もの市も同時開催)
◎前日の9月16日(土)には、編集者でライターの南陀楼綾繁さんのトークもごさいます。 ※詳細は決まり次第お知らせいたします。

2023年
9月17日 (日)

音楽 ルー・タバキン・トリオ (ロビー公演)

一流のサクソフォン奏者・フルートの名手として確固たる地位を得たルー・タバキン。
日本人実力派のドラムとベースがサポートする白熱のライブ。

出演◆ルー・タバキン(Ts) / 高橋信之介(Ds) / 金森もとい(B)
時間◆19:00開演

2023年
9月19日 (火)
※詳細は決まり次第お知らせいたします。

演劇 渡部ギユウプロデュース公演 組曲虐殺

作・井上ひさし 演出・渡部ギユウ

井上ひさしの生前最後の作品に、仙台を中心に活躍する気鋭の若手俳優陣が挑戦。

時間◆14:00開演

2023年
9月24日 (日)
※詳細は決まり次第お知らせいたします。

編集後記

最近パーマをかけました。春なのでちょっと浮かれた気分です。パーマにしてみました。自分では大満足ですが、家族からは「カミナリ様」というあだ名で呼ばれる日々が始まりました(笑)。そしてパーマをかけた時期が、このプラス通信入稿直前だったものだから、自分の似顔絵に反映させるかどうかの葛藤が…。めんどくさい気持ちを打ち消し、編集後記のネタとしても似顔絵を作り直す決心をしました!似顔絵にするとますます「カミナリ様」感が増しますね～(苦笑)

